

高等司法研究科教授会議事録

日 時：令和8年6月18日（木）15時10分～16時34分

開催方法：オンライン（Zoom）

場 所：各自 Zoom 利用可能な場所

出席者：藤本研究科長、

青竹、小野、片桐、久保、新谷、高橋（智）、高原、武田（直）、茶園、名津井、苗村、松井、水島、水谷、
溝渕、村西 各教授

木下、小池、田中、福島、山中、來田 各准教授

オブザーバー：長田法学研究科長、

エルバルティ、乙部、上川、坂口、豊田、中山、仁木、長谷川、濱本、林、松田 各法学研究科教授
青木、地神 各法学研究科准教授

欠席者：結城教授

長期海外渡航者：なし

- ・後日送付する今回の議事録（案）を確認の上、特に意見等があれば専門職員へ連絡することとした。
（なお、前回（5月21日）議事録については、特に意見等の連絡はなく、原案のとおり確定した。）

議 事

（協議事項）

1. 2026年度人事計画の改定について

松井人事委員会委員長から、6月11日開催の法学研究科教授会にて承認された准教授の再公募及び助教の公募について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。

2. 令和7年度決算及び令和8年度予算配分案について

久保財務室長から、令和7年度決算及び令和8年度予算配分案について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。

（報告事項）

1. 学内委員会等報告

①教育研究評議会（5/20）

②人文社会科学系領域会議（5/13）

③教育課程委員会（5/8）

④国際交流委員会（5/26）

⑤ダイバーシティ&インクルージョンセンター会議（5/12）

研究科長から、①の5月20日開催の教育研究評議会について、同会議において選出する総長選考・監察会議委員に人文学・社会科学系グループから、山上文部部長が選出されたこと、賞与制度改革のAction Plan I（業績を重視する賞与制度への移行）、月給制教職員の賞与一本化に係る制度の内容等を、より構成員が理解できるよう周知期間を確保するために実施時期を1年延期され2027年度より実施されること、教員の人事について懲戒処分があったこと、生成AIに係る注意喚起があったことについて、資料に基づき報告があった。

また、研究科長から、②の5月13日開催の人文社会科学系領域会議について、学際的な研究を進めている教員の紹介が行われ、今後の方針として研究成果を跨ぐ研究をリスペクトしていくこと、第1回学術研究機構会議の議事等の報告があり、当面はルール策定に注力する方針が示され、重点課題を①ガバナンス体系における位置づけ、②教員人事、③予算編成・配分について、現状把握から着手し検討を進めていくことについて、資料に基づき報告があった。

2. 高等司法研究科運営委員会（6/11）報告

研究科長から、高等司法研究科運営委員会（6/11）について、資料に基づき報告があった。

3. 高等司法研究科教務委員会（6/4）報告

片桐教務委員会委員長から、高等司法研究科教務委員会（6/4）について、資料に基づき報告があった。

4. 高等司法研究科アドミッション委員会（5/29）報告

村西アドミッション委員会委員長から、高等司法研究科アドミッション委員会（5/29）について、資料に基づき報告があった。

5. 司法研修所と法科大学院協会との意見交換会について（6／2）

研究科長から、6月2日に開催された司法研修所と法科大学院協会との意見交換会について、資料に基づき報告があった。

6. 令和8年度国立九大学法科大学院長会議について（一橋大学・6／5）

研究科長から、6月5日に開催された国立九大学法科大学院長会議について、資料に基づき、報告があった。

7. 法科大学院協会 理事会・総会について（6／13）

研究科長から、6月13日に開催された法科大学院協会 理事会・総会について、資料に基づき、報告があった。

8. その他

①教員の海外渡航について

研究科長から、教員の海外渡航について、1件該当者がいた旨、資料に基づき報告があった。

※次回（オンライン開催予定）：令和8年7月16日（木）15：10～